

本大会は現行の日本卓球ルールを適用して実地します。以下、要点及び適用緩和事項のみ記載します、

1 ボール

- ・ 本大会はJTТА公認40mm・スリースターホワイトプラスチック球(NITTAKU)を使用します。

2 ラケット及びラバー

- ・ ラケット本体はJTТА公認品を使用して下さい。
- ・ ラバーは2020年11月26日現在、ITTF適用のリストに記載のものを使用して下さい。
- ・ 貼り付けたラバーはラケットの大きさより大きかったり小さかったりしないよう、あらかじめ選手自身で切りそろえておいて下さい。(ラバーのはみ出しは2mm程度として下さい。)

3 服装

- ・ JTТА公認のものを着用して下さい。若し、公認マークがない場合、審判長の裁定を受けて下さい。
- ・ 対戦する選手が同系色のシャツの場合、決勝戦では規定に従い、トスの敗者に着替えていただくことがあります。

4 サービス

- ・ エンドラインより後方かつプレーイングサーフェスより上方で、ほぼ垂直に16cm以上投げ上げ、落下するところを打って下さい。サービスはレシーバーに見えるように行ってください。

5 試合

- ・ 1ゲーム11本の5ゲームマッチとします。
- ・ チェンジエンドはしない。

6 タイムアウト

- ・ タイムアウトは本大会では取得できません。

7 促進ルール

- ・ 予選リーグ、決勝トーナメントともに促進ルールを適用します。
- ・ 1ゲームが10分以上たっても終わらない場合に適用されます。
(両者のスコアの合計が18以上の時は適用されない)
- ・ 対戦者双方の合意があれば、10分経過していなくても促進ルールを適用することができます。
- ・ 促進ルールを適用する場合、審判は本部の公式審判員が主審、副審を行います。

8 試合進行、審判及び結果の報告

<予選リーグ>

- ・ 予選リーグは各ブロック毎に、出場選手で進行を行っていただきます。
- ・ 試合は試合結果記入用紙に書かれた順番、タイムテーブルに従って進めてください。
- ・ 審判は各リーグ毎に、出場選手が輪番で行ってください。
- ・ 試合結果は、各リーグの代表者(リーグ戦表の1番目の選手)が全試合終了後に、試合結果受付席に持って来て下さい。
- ・ 結果受付席は種目別に分かれていますので、プログラム中のコート割のページで確認して下さい。
- ・ 各リーグの代表者は参加は、参加者全員が試合結果に同意され、サインがされていることを確認して下さい。

<決勝トーナメント>

- ・ 男子一般の部
 - ・ 3回戦までは各ブロック毎に、出場選手で進行を行っていただきます。
試合は各ブロックごとの組み合わせ表、タイムテーブルに従って進めて下さい。
試合結果は組み合わせ表に記入し、すべての試合が終了したら、代表者が結果受付へ提出して下さい。
代表者は、決勝トーナメント開始前に本部で決めさせていただきます。
 - ・ 4回戦以降、本部により進行させていただきます。
- ・ その他の種目の決勝トーナメント1回戦の審判について
予選リーグの最終試合の2選手のうちどちらかに、そのコートで行われる決勝トーナメント1回戦の試合の審判をしていただきます。
- ・ 審判は敗者審判でお願いしますが、決勝戦は当卓球連盟所属の公認審判員が行います。